

質問	アゼルニジピン錠 16mg の簡易懸濁法での投与は可能ですか。
回答	<p>アゼルニジピン錠16mgは錠剤1個を薬包紙に包み、上から乳棒で数回叩いて崩壊してからであれば、55℃の温湯に5分以内に崩壊懸濁し、8Fr.のチューブまたは18Fr.のガストロボタンを通過しています。</p> <p>詳しくは添付のデータをご覧ください。</p> <p>本資料の情報に関する注意：本資料には承認を受けていない品質に関する情報が含まれます。試験方法等が確立していない内容も含まれており、あくまでも記載されている試験方法で得られた結果を事実として提示しているものです。医療従事者が臨床適用を検討する上での参考情報であり、加工等の可否を示すものではありません。</p>
参考資料	【アゼルニジピン錠 16mg「ケミファ」】 簡易懸濁法に関する資料